

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成22年5月8日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101367		
法人名	(有) ハイブリッジ		
事業所名	グループホームハイブリッジ	ユニット名	ハイブリッジ2
所在地	〒310-0847 水戸市米沢町 98-1		
自己評価作成日	平成22年 5月 9日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域密着型サービスという位置づけから、近隣の市民センターや施設、近隣住民と交流を図り、ホームの行事にも参加して下さり、職員も理念を把握しており、常に地域とのより良い関係作りを心がけている。また入居者が自己決定により活動できるように、支援している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスに変更になった時点で、新たに職員全員で話し合い、理念を作り上げ、その理念を共有し実践している
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々がホームの行事に参加する事は、定例となっており、また地域のお祭りや空き缶拾い、小学校の運動会、市民センターでの行事、体操への参加などの交流を日常的に行っている
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議においても、話し合っており、地域の相談窓口や施設の開放などの地域貢献を検討している
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、活動や取り組みの報告を行い、様々ないけんを頂いている。また、情報をいただき、ツ時情報を元にイベントに参加したりしている
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	現在のところ運営推進会議以外は行き来する機会がないので、今後連携をとり、共同関係を築いていきたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止委員会の委員を中心に内部研修に取り組むと共に、外部研修にも参加し全ての職員が身体拘束の内容とその弊害を理解し実践できるよう、取り組んでいる、また、出入口の施錠は自由に開錠できるものとなっている
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束防止委員を中心に、高齢者虐待防止法についても内部研修を行い、学ぶ機会を持ち、日頃から防止に努めている

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	外部研修などにより、知識を深めている。必要と判断する方がいれば話し合う機会をもうける。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約については、相談の段階から管理者が責任を持って説明し、利用者、ご家族の疑問などにも即答できるようにしている、また、ご家族が十分な理解ができる様に、契約書などは、例をあげながら説明している
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見があった場合は、申し送りなどを通して職員に伝えている、またご家族に対しては、気軽に相談できる関係作りと共に、ホーム玄関に苦情受付BOXを設置し、受付担当者を掲示、重要事項説明書にもホーム以外の苦情受付機関を掲載している、
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者とは毎月必ず全体ミーティングを開催している他、定期的に食事会も行い、また個人面談の機会をつくり、意見や提案を聞く機会を設けている
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格や経験に応じた研修を行い、スキルアップを図っている、また職員の勤務年数に応じて表彰式なども行っている
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任従事者研修、中堅従事者者研修、指導監督従事者研修の3つの研修体系をとり、段階に応じた職員に対し、研修を行っている、また外部研修についても全職員に、最低年1回の研修への参加機会を設けることとしている
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームとは、お互いの施設での行事に参加し、交流を持っている、また運営推進会議においては、「知見を有する会」として参加していただいております、サービスの向上のために意見を反映している

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	緊急時以外は相談の段階から何度か面会をさせていただき、ご本人とじっくり話す機会を設けている、また入所に至るまで余裕がある方に関しては、利用されているサービスの状態も見学させていただくこともある
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時には困っていることについての聞き取りをし、入所前の面談時には施設の機能や体制を説明し、施設に対して求めていることの聞き取りを行っている
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた段階で、他のサービスを利用した方が良いと思われる場合は、ホーム以外のサービスを勧めることもある、また緊急と判断しホームに空がない場合、近隣のホームに連絡し対応している
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	菜園の作業も利用者が中心に計画を立て、話し合いながら行っている、また行事は、昔ながらのやり方などを聞きながら行っている、日常生活の中で本来の個性や力を発揮している
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の安心できる暮らしのために、ご家族の協力を仰ぐこともしている、可能な限り行事への参加も促している、また外泊や外食についても勧めている
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人との外出や外食なども行っている、ご本人が行きたい場所なども可能な限り連れて行くこともしている
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握しており、気の合う方同士は良い関係を継続できるように配慮し、他の方に対しても、関る中でトラブルにならないように職員が間に入るなどの支援に努めている

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後のご家族からの寄贈品などを頂いたりしている、また行事への参加のお誘いもしている
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	可能な限りご本人の意向を尊重している、困難な場合はユニット職員全員でアセスメントに参加し検討している
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前にケアマネージャーからの情報提供、または看護サマリーの他、ご本人、ご家族に対しても聞き取りを行い、これまでの経過の把握に努めている。また、居室内の物は本人の馴染みの物を使用している。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録に毎日の生活の状況、バイタルなどを記入する他、看護記録の欄も設け心身状態の把握に努めている。また、多少の変化でも職員間で申し送るようにしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要により医師の指示を仰ぎ、看護師を含めたユニット職員全員で話し合い、ご本人やご家族の要望を踏まえて介護計画を作成している
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、実践・結果については個別記録に記入しているが、気づきや工夫についてはミニカンファを開き共有を図っている。職員連絡ノートに記入し申し送っている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	買い物や、散歩・外出が好きな方が多いので、臨機応変に対応している。またケアマネージャーを配置しているため、要望により介護保険の更手続きも代行している

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員やボランティア、小学校、市民センターとは頻繁に関わりを持ち、協力していただいている、避難訓練の際には、水戸市の消防による消火器の使い方の指導も受けている
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望によりかかりつけ医を変更せずに対応しているが、夜間対応が困難な場合は、事業所指定の医師にさせていただくこともある
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を常勤で配置しており、利用者の病状が初期段階から相談し指示を受けるなど、日常の健康管理を行っている
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	週1回の往診時に情報交換や相談を行っている、事業所の看護師を中心として密に連絡を取りながら、関係作りを行っている
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方については医師、看護師を含めご家族と話し合っているホームにおいては、「重度化した場合の看取りの指針」を定めている他、ターミナルケアマニュアルを作成している、今後重度化及び終末期になったときのマニュアルを再度、関係者を含め検討し、チームで取り組みたい
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部から招き、救急救命講習会などを開いている、また急変時の対応についてマニュアルを作成しており看護師の指導の下に訓練を行っている
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	1年に2回火災によると想定した避難訓練を行っている、今後夜間を想定した訓練を実施する計画をしている、運営推進会議において地域との協力体制についても話し合っている。また、スプリンクラーの設置も終えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、ご本人の立場に立った言葉かけや対応をしている、職員は記録も含め個人情報、秘密保持について誓約書に同意をしている、
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事、入浴あらゆる面で、何かを選んだり決めたりすることが出来やすい声かけをしている。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者から「〇〇がしたい」と訴えがあったときには、出来るだけできる様に支援している。また、こちらからのお誘いを断られた時には、無理強いしない。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その時にあった服装ができる様、入居者の意見を聞きながら選ぶお手伝いをしている。施設外の方に会っても恥ずかし思いをされない身だしなみにするように支援しています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	女性入居者が多いため、調理手伝いの方・テーブル準備・片付けと担当を大まかに決め、皆で食事を楽しめるようにしています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員一人一人が、入居者の水分摂取量や食事摂取量を確認・把握しその時々で必要量が摂取できる様、支援しています。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者自信が出来る方には声かけし、行って頂く。出来ない方には誘導しお手伝いしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	今、おむつ使用者はいないが、パット使用者がおり、自分からはトイレに行けないので、その方のパターンに合わせてトイレ誘導している。出来るだけ失禁の少ないよう努めています。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	入居者一人一人の排便パターンの見直し、便秘にならないように職員・看護師で申し送りもしている。予防としては、水分補給を多めにしたり、食物繊維の多いものを召し上がって頂いたりしている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	だいたい一日おきの入浴だが、入る入らないかは本人の意思に任せている。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きな時に休んで頂けるように、寝具は本人に馴染みのある物で常に清潔なものを用意している。また、特に就寝時間は決めてなく、眠い時に休んで頂いている。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誰がどんな薬を服薬しているのか職員は、把握する様にしています。何か変化があった時には、看護師にすぐ確認し症状にあった服薬が出来るようにしています。また、薬剤師より、薬の説明も受けています。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで家事をされてきた方には、家事のお手伝いをして頂いたり、趣味で楽しめる環境をこちらから提供したりしています。また、気分転換もかね、月に一度の外食も取り入れています。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩と出来るだけ希望に応えられるように努めています。また、ご家族と外出をされることもあります。急には出かけられない場所の時には、誕生日に外出支援しています。



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>こちらで、ご家族から頂いたお小遣いは預かり管理していますが、ご自分でもお財布をもたれている方もいます。ご家族と、だいたい一ヶ月に使える金額を決め、その中で入居者の欲しい物を購入しています。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者の要望で、ご家族に電話を繋いだり、友人からの電話を引き継いだりしています。耳の遠い方には間には入りやり取りすることもあります。普段、手紙を書かない入居者でも家族宛に年賀状を書いています。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が好きな曲を流したりまたは、季節の曲を流したり、カレンダーを何箇所かに貼り、今という事を感じて頂けるよう支援しています。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事やお茶の時間にも楽しんで頂けるよう、相性やレベルに合わせて席を決めたり、その時以外にもゆっくり過ごせるよう、テレビ近くにソファを並べています。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内の家具等は、入所前に使われていたを持ってきてもらい、慣れ親しんだ物で混乱が少なく落ち着いて頂けるようしています。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ドアの鍵を開け一人で外まで行ける方が、間違っって転倒等ないように、ドアにセンサーを付け、外に行きたい時には一緒に行けるようにしています。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない